

大杉谷国有林からの手紙

35通目 ~大杉谷のシカとその爪痕~

しょう

はくひ

大杉谷国有林には多くのシカが生息しており、植栽木の枝葉食害、樹木の剥皮害、自然植生の衰退などを引き起こしています。そのため、森林植生の回復を目指して地域性苗木の植栽などを行っています。今回は、シカの一風景や爪痕について紹介します。

(1) シカの親子

雨が降っている中林道をゆっくりと走行している時、目の前にシカが出てきたので車を停めて確認してみると、林道にうずくまる小さな体がありました。このままだと車が動かせないため降りてみましたが、親がびっくりして離れたにも拘わらず、子どもは動く気配を見せずじっとしています。元気なくてももう動けないのかもと思いましたが、避けて通ろうとした瞬間にぱっと立ち上がりぴょんぴょん飛び跳ねながら走り去っていきました。雨の降りしきる山の中を歩き回り、平らな林道上で休憩していたのかもしれないですね。この職場でしか味わえない不思議な体験でした。



(2) シカの爪痕

大杉谷国有林に点在している未立木地調査に向かった際、足下に枝のみになってしまった木を見つけました。

これはシカが表面にある葉を全て食べ尽くしてしまっただけのもの。数少ない残った葉を見てみると、この木はツゲのようです。

この他にも普段はシカが食べない植物で



あるアセビやシャクナゲでも、かじった痕が散見されるため大杉谷国有林でのシカの森林植生への影響は、まだまだあるものと思われます。

(3) 歩道を利用するのは人だけではありません

今年度、未立木地に地域性苗木を植栽した個所に歩道を作ったのですが、そこを通るのは人だけではないようです。

私たちが近くを通ってもぴくりとも動かず、じっと離れるのを待っているようでした。

結構大きなヒキガエルでした。

歩道はシカも利用しているようですが、シカによって未立木化した背景があるため複雑な気持ちです。



晴天の日に大杉谷国有林を撮った写真です。山々が幾ばくも連なり、とても奥行きのある風景を見ることができます。

また、人工林の整然と並んだ姿と広葉樹林のコントラストも大杉谷国有林の風景に奥深さを与えています。

登山で来られた際はぜひ大杉谷の風景を堪能していただきたいと思っています。



このような景色を未来に残していけるように日々の業務に励んでいきたいと思っています。

発行：三重森林管理署 尾鷲森林事務所 地域統括森林官